



森ボラ通信

第19号 2003年 12月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区北1条東1丁目明治生命ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail : shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

12月17日現在のホームページへのアクセス数1000回

11月6日掲載以来、37日の実績です。1日当たりのアクセスの平均は27回となります。植樹募金の奉加帳には18人、計32,700円の浄財が寄せられました。ありがとうございます。

下記の入会申し込みは、ホームページからの入会者3名、カルタ原画展の記事から3名、三浦裕さんの紹介で2名です。

【新入会員の紹介】

前地充久、高橋尚樹

(入会手続中) 佐久間澄子、山本 薫、武田鉄雄、河口幸子、安保忠義、丸藤尚之

12月25日忘年会のこと

参加予定22名

【場所】 ホテル・ミリオオーネ 【会費】 10,000円

送迎バスは札幌駅北口団体バス乗合場14時発です。

翌朝帰路はホテル発10時です。

森林総研「勉強会」報告

12月16日（火）参加26名。

■猪瀬光雄氏 『北海道の森林の役割--環境との関係にポイントを置いて--』

■佐々木尚三氏 『羊ヶ丘実験林と保育作業について』

■作業実績

① 枯死木の除伐

(2林班) と小班---4,361本

(2林班) リ小班---14,300本

②樹木バイオマス量の測定支援

③枝打ち

(5林班) ---5.77ha

④間伐

(4林班) ヘ小班---372本

10時から12時過ぎまで、講演と実験林の説明および今後の取組みについての忌憚りの無い意見交換を行いました。特に当方からの要望的な意見が多く、総研側の調整がついた分、2004年計画に反映させます。

カンジキ作り報告

12月12日（金）、参加22名、集合場所のJR銭函駅前より定刻出発。銭函インターチェンジに向かう道路から右折して札幌高速の下をくぐり、細い坂道を登ったグラウンドに駐車。そこから新雪を踏む登山道を10分程度登り、銭天山荘に到着。石狩及び後志森づくりセンターから指導員が参加され、室内は満杯状態でした。屋外に焚き火をして外でも作業をしました。昼は計画通り大鍋で煮



た温かい「豚汁」で温まりました。講習のお陰で単独でも制作できるレベルになったので、材料を厳選して、より良いカンジキを作ることができると思われます。講師およびサポートの方々、お世話ありがとうございました。

12月 定例幹事会報告

12月9日（火）、下記議案について、検討し承認されました。

1. 2004年度の活動計画について（3ページ参照）
2. NPO法人設立趣意書及び定款について（4ページ参照）

【出席幹事】 加治、鎌田、後藤、酒井、松村、三浦、湊 【事務局】 高野

「森のカルタ原画展」の報告

12月1日～9日、ギャラリー「紀」で開催。当初は6日までの計画でしたが、「道新」の取材が5日にあり、6日の朝刊に掲載されるについて、期間を延長することになりました。新聞をご覧いただいた方はお分かりでしょうが、かなり大きな写真とコンセプトが伝わる文章でしたので、PR効果は大きかったと思われます。

さらに、初日、2日目、3日目の3夜にわたり、ギャラリー奥の「サロン」で、「森を語る」懇談会が行われました。初日は出席者6名（石島しのぶ、虎谷勝行、ヘレナ・ケラヴァ、湊克之、渡部紀美世、高野豊）。

「FFC」（黄金水）と三角山下のリンゴ園を切り口に、話題が展開しました。2日目も出席者6名（石島しのぶ、尾崎安正、尾崎麗子、柴田久子、渡部紀美世、高野豊）。竜巻発電と地球環境改善（CO2削減、砂漠緑化）が話題でした。3日目は出席7名（石島しのぶ、湊克之、渡部紀美世、伊藤正弘、伊藤秀子、藤田順子、笠野さん）。飲料水とフクロウが切り口でした。

山崎重吉さんがご夫人ともども元気な姿でいらっしゃったそうです。快方に向かわれていればこそその外出と思います。嬉しい報せでした。会場の提供をいただいた渡部さんには、大変なお世話になりました。ありがとうございました。

木材関連実業現場見学会「木の城たいせつ」報告

11月30日（日）参加15名、9:00大通東1丁目の北電ビル南側から送迎バスで出発。R275を新石狩大橋手前で右折し、R12に出てR337に左折状態でループ交差して右折し、栗山に向かいました。碁盤目状の道路網を左折、右折を繰り返して約1時間の行程でした。

「木の城たいせつ」の工場見学は見ごたえがありました。木材に対する深い造詣と丁寧な扱いが伝わってきます。製材工場の設備と流線は見事です。また、樹皮からオガクズにいたるまで完全に利用している様子が感動ものでした。ただし、間伐材は末口14cm以上なければラインに乗らないことが判りました。われわれが手がける中では大物の方です。乾燥と養生の設備と方法についても積年の試行錯誤があつての結果と説明されると現物のスケールの中に立っているとよく理解できました。創業者かつオーナーの山口会長の講演も企業理念と郷土愛を情熱をもって語られ、説得されますし、感動がありました。ただ、プログラムを欲張りすぎて後段は蛇足に思われ、高齢者や子供の集中力の限界を超えていたことが惜しまれました。出発場所での解散時間が17:30でした。

「森のカルタ」展示作業

11月25日（火）午後、湊代表と高野で石島邸を訪問。「森のカルタ」展示についての打合せをしました。28日は石島、湊、渡部、高野の4人で展示作業をしました。

森の看板製作材料を製材しました

11月21日（金）加治さんのご縁で特別にご配慮をいただき江別林産に原木を持ち込んで、製材していただきました。木目も美しい板が出来ました。ボランティアのボランティアをしていただいた次第です。

王子製紙見学に挨拶

11月21日（金）、10時、酒井代表幹事と高野が王子古紙パルプセンター(株)を訪問し、中澤部長に工場見学についての申請を受諾していただいたについて、お礼の挨拶に行ってきました。酒井代表とは旧知の関係でした。

撫順プロジェクト、夕張市に挨拶

11月18日(火)、湊代表幹事と高野で夕張市を訪問。伊吹総務部長と小町総務課長に挨拶してきました。夕張市としては過去に撫順市と民間レベルの交流はしていないとのことでした。